

いにしへの讃岐

vol.98

名(みょう)遺跡の発掘調査

平成29年11月から平成30年6月まで
丸亀市飯山町下法軍寺で国道438号(飯山工区)道路整備事業に伴って名遺跡の発掘調査を行いました。



▲ 飛鳥時代の水田跡

平成29年度の調査はいにしへの讃岐96号(平成30年1月発行)でも紹介しましたが今回は平成30年4月から6月までに行った調査の内容を紹介します。平成30年度の調査地は平成29年度調査地の南側に当たり、飛鳥時代の水田跡、平安時代後半から鎌倉時代の溝状遺構などが見つかりました。

飛鳥時代の水田跡は洪水で運ばれてきた土砂で埋まっており、畦畔が良好な状態で見つかりました。畦畔の幅は50〜70cmで、畦畔を保護する矢板などはみられませんでした。この畦畔は5〜7mごとに作られており、南西から北東、北西から南東に向かって格子状にのびていました。水田一筆の面積は30㎡程度で、ややいびつな方形をしています。現在、調査地の周囲には整然とした方形の広大な面積の水田が広がっていますが、名遺跡で見つかった飛鳥時代の水田跡はかなり狭いものです。イネの栽培には水を必要とします。現代でも畦畔は土地の境

界を示すとともに、水仕切りの役割を果たしています。名遺跡で見つかった水田畦畔は水を効率的に運用するために、小面積の水田になったと考えられます。残念ながら、名遺跡ではこれらの水田に導水した用水路は見つかっていませんが、付近に用水路を掘って水を管理しながらイネを作っていたものと思われる。

また、名遺跡では平安時代後半から鎌倉時代の溝状遺構も見つかりました。この溝状遺構は南から北に80m以上のびており、周辺の田畑を潤す灌漑用水路と考えられます。飛鳥時代の水田畦畔の方向とは異なっており、現在も付近に広がる田畑の地割に平行していることから、飛鳥時代から平安時代後半・鎌倉時代の間に現在の風景の元となる土地区画整備の土木工事が行われたことが考えられます。このように、今回の調査によってこの付近の土地利用と開発の様子を示す重要な手がかりを得ることができました。



▲ 水田跡の調査風景



▲ 平安時代後半から鎌倉時代の溝

香川県埋蔵文化財センターテーマ展 暮らしのなかの木の道具

平成30年7月23日(月)〜9月25日(火) 9時〜17時 ※土・日曜・祝祭日は休館

遺跡の発掘調査では、土器や石器に比べて木器が出土する機会は限られています。しかし、それは人々が生活に木をあま

り利用しなかつたからではなく、木は土の中では傷みやすいため調査時には朽ち果てていることが多いからです。自然河川跡など水分の多い場所では木は保存されやすく、多量の木器が出土することがあり、古来より人々が多種多様な木器を使用したことがわかります。

▲ 多肥松林遺跡削物容器

昔から人々の生活と木には密接な関わりがありました。集落に近い森林からは、建物の柱や用水路などに設置する杭、燃料とする薪などを調達したと考えられます。道具の製作は、たとえば鋤・鍬などの掘削具には丈夫なアカガシ亜属の木を使用するなど適切な木材が選択されました。鍬などの未成品が出土することもあり、集落で木器が作られた様子も窺えます。

香川県のこれまでの調査では、鋤・鍬などの掘削具、稲の脱穀に使う堅杵や臼などの農具、木材を削り抜いて作った削物の容器やろくろを使った挽物の容器、下駄や扇・櫛などの服飾品、祭祀に使う形代や斎串、船の部材や馬具である鐙や鞍など様々な種類の木器が出土し、縄文時代以来、生産活動や日常生活のあらゆる場面で木が使用されたことがわかります。木の種類の種類や形態は時代とともに変化しながらも、木は身近な道具の素材として、長期間、幅広い用途に利用されました。

今回は、県内の発掘調査で出土した、縄文時代から江戸時代までの様々な種類の木器を展示します。古来から続く人々と木の関わりを感じていただければと思います。

体験講座「古代をたいけんしてみよう」

場所：香川県埋蔵文化財センター

対象：小学生以上

定員：各15名(申し込み先着順)

(1)土器をつくる

日時：7月24日(火) 9時30分〜11時30分
7月25日(水) 9時30分〜11時30分

参加料：370円(保険料・材料費)

(2)アングン編みでポシットをつくる

日時：7月24日(火) 13時30分〜15時30分

参加料：110円(保険料・材料費)

(3)編みかごをつくる(受付を終了しました)

日時：7月25日(水) 13時30分〜15時30分

参加料：260円(保険料・材料費)

※参加料は当日ご持参ください。

※事前に申し込みが必要です。複数の講座の申し込みはできません。

申し込み期間：7月4日(水)〜7月23日(月)

※定員を満了したときは申し込み期間中でも受付を終了します。

遺跡見学「讃岐国府跡と新宮古墳」

日時：7月31日(火) 9時30分〜11時30分

※悪天候の場合は8月2日(木)に延期します。

集合場所：香川県埋蔵文化財センター(9時受付開始)

案内：香川県埋蔵文化財センター まいぶんボランティア

対象：小・中学生

定員：15名(申し込み先着順)

参加料：50円(保険料)

※参加料は当日ご持参ください。

※事前に申し込みが必要です。

申込先

電話かメールでお申し込みください。
メールの場合は、お名前・住所・年齢・連絡先を記入してください。
TEL:0877-48-2191 Email:maibun@pref.kagawa.lg.jp
詳しくは埋蔵文化財センターのホームページをご覧ください。

2018年(平成30年)6月

発行：香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024
香川県坂出市府中町字南谷 5001-4
tel: 0877-48-2191 / fax: 0877-48-3249
HP: http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/
E-mail: maibun@pref.kagawa.lg.jp



表
裏



▲ 鴨部・川田遺跡 木器が出土した様子